

成果指標				
成果指標	介護予防ケアプラン作成者数のうち、更新申請で非該当となり、二次予防事業へ繋がった人の割合			
指標設定の考え方	要介護状態にならないように、介護予防ケアプランを作成し、その効果により更新申請で非該当となった人。更に二次予防事業へ繋げることにより介護予防支援を継続して実施できる。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	50%	50%	50%	0
実績	33.3%	0%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	要支援認定者数は増加しているため、個々に応じた介護予防ケアプランを作成し、サービスを提供し状態が悪化しないよう支援する必要がある。更新申請の結果、非該当となり二次予防事業へ繋がった人はいなかったが、必要に応じて介護予防事業の利用を勧め、自立した生活が継続できるよう支援する必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	今年度は、成果指標である「更新申請の結果、非該当となり二次予防事業へ繋がった人」はいなかったが、支援認定者数は増加しており、個々に応じた介護予防ケアプランを作成し、サービスを提供し状態が悪化しないよう今後も支援していく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題